

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】特開 2000-248088 (P2000-248088A)

【公開日】平成 12 年 9 月 12 日 (2000.9.12)

【出願番号】特願 平 11-55481

【国際特許分類】

**C 0 8 J 5/22 (2006.01)**

**B 0 1 D 69/06 (2006.01)**

**B 0 1 D 71/26 (2006.01)**

**B 2 9 C 67/20 (2006.01)**

**C 0 8 J 5/18 (2006.01)**

**C 0 8 J 9/00 (2006.01)**

**C 0 8 J 9/28 (2006.01)**

**H 0 1 M 2/16 (2006.01)**

**B 2 9 K 23/00 (2006.01)**

**B 2 9 K 105/04 (2006.01)**

**B 2 9 L 7/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 J 5/22 C E S

B 0 1 D 69/06

B 0 1 D 71/26

B 2 9 C 67/20 B

C 0 8 J 5/18 C E S

C 0 8 J 9/00 C E S A

C 0 8 J 9/28 C E S

H 0 1 M 2/16 P

B 2 9 K 23:00

B 2 9 K 105:04

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 27 日 (2005.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 重量平均分子量が 50 万以上の超高分子量ポリオレフィン (A) 又は重量平均分子量 50 万以上の超高分子量ポリオレフィンを含む組成物 (B) からなるポリオレフィン微多孔膜であって、透気度が  $1000 \sim 2000 \text{ sec} / 100 \text{ cc}$ 、バブルポイント値が  $10 \text{ kg} / \text{cm}^2$  以上であることを特徴とするポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 2】 突刺強度が  $500 \text{ g} / 25 \mu\text{m}$  以上であることを特徴とする請求項 1 記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 3】 引張強度が  $1000 \text{ kg} / \text{cm}^2$  以上であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 4】 空孔率が 25 ~ 35 % であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 5】 熱収縮率が 5 % 以下であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 6】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を用いた電池セパレータ。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を電池セパレータとして用いた電池。

【請求項 8】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を用いたフィルター。

【請求項 9】 重量平均分子量 50 万以上の超高分子量ポリオレフィン (A) 又は重量平均分子量 50 万以上の超高分子量ポリオレフィンを含む組成物 (B) 5 ~ 35 重量 % と溶剤 95 ~ 65 重量 % からなる溶液から、溶融押出しによりゲル状物を得、当該ゲル状物を 3 × 3 倍以上に延伸し、しかる後に溶剤を除去し、乾燥後、熱セットを行うことを特徴とするポリオレフィン微多孔膜の製造方法において、溶剤除去後における熱セット温度を 122 ~ 130 とすることを特徴とする請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜の製造方法。